



千葉県版

NO. 396

2021年6月15日

発行所

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

千葉県本部

〒262-0032

千葉市花見川区

幕張町4-524-2

千葉民医連

事務センター203

電話

043-215-7521

FAX

043-215-7522

国賠同盟千葉県本部

第48回総会開催

劇映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯ー」

千代子役ー井上百合子さんに決定

5月12日、全労連会館で劇映画の「主演女優紹介と歓迎のつどい」が開かれ、井上百合子さんが映画に臨む決意を語りました。百合子さんに花束が贈られ、桂壮三郎監督が百合子さんを紹介。共演する嵐圭史氏(元劇団前進座俳優)は、自作の「贈ることば」を披露。参加者は、百合子さんに熱烈な拍手を送りました。(写真は植村恵美子、文は七里)



小松実会長は、千葉県本部の

小松実会長
あいさつ

治安維持法犠牲者国家賠償
要求同盟千葉県本部の第48
回総会が5月27日、千葉市生
涯学習センターで開かれ、20
名が参加しました。これまで
の総会は、9月に開かれていま
したが、今年度から会計年度
にあわせた開催となりました。
冒頭、県本部顧問の杉浦正男
さんをはじめ、この間に亡くな
られた同盟員の方々を追悼し
て默とうがおこなわれました。

「第一に、映画『伊藤千代子の生涯』の取組みが大きく前進いたしました。藤田さんの『時代の証言者』の出版記念講演会を担つた国民救援会、民青県委員会、日本共産党県委員会、そして同盟の4者を中心に行委員会結成の準備を進めてきましたが、いよいよ7月7日に実行委員会を旗揚げすることになりました。

(次ページにつづく)

治安維持法国賠同盟
千葉県本部
事務所移転のお知らせ

引越しへ、6月下旬を予定して
おりまます。移転先は追ってお
知らせいたします。
(電話・FAX番号が変わります。
決まり次第お知らせいたします)

また、県同盟の21年度方針について、①来年の県本部総会までに会員500名をめざすとともに、支部体制の確立をはかり、女性部の活動を強化する②国会請願は、来年5月までに6000筆をめざす③映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」の取り組みに全力を上げる④財政活動ー会費は100%徴収をめざす⑤県本部機関紙「不屈」の発行⑥治安維持法犠牲者名簿の発刊⑦国民救援会をはじめ民主団体との共同の取り組みを強めることし、最後に会計報告と新年度予算を提案しました。

このあと、議案、20年度会計決算と21年度会計予算、新役員が承認されました。体憩中に第1回理事会が行われ、会長、副会長、事務局長が選出され、総会に報告されました。新役員は次のとおりです。

部の会員拡大の取り組みについて、竹内壮一さんは、東葛支部第一回目の学習会と今後の活動について、伊藤政行さんは市浦支部の活動について、それぞれ発言しました。



国会議員署名はついで小松氏は、「2980筆集め、昨年より330筆上回りましたが、目標の6000筆には届きませんでした。コロナ禍ではありますが、今年度は、さらに力をいれ目標達成に向けて取り組みたい」と述べました。

(前ページのつづき)

討論

會長

小松
実

理事(16名)

理事(16名)
○伊藤政行(市浦支部)○日下
みや子(東葛支部)○小松敦
(県直、本部事務局)○小松実
(千葉市支部)○渋谷定治(市
浦支部)○高橋妙子(松鎌支部)
○高橋タツ子(市浦支部)○竹内
壮一(東葛支部)○竹内喜忠
(市浦支部)○田中長義(市浦
支部)○玉川寛治(千葉市支部)
○寺尾賢(千葉市支部)○七里
一司(市浦支部)○細沼敬二
(千葉市支部)○三浦眞清(銚
子支部)○渡辺喜代子(千葉市
支部)

会計監査(2名)
○須田淳子(佐倉支部)○吉永
弘子(千葉市支部)

顧問(4名)
○鈴木実(千葉市)○中村日出
丸(千葉市)○藤田廣登(柏市)
○山本和宏(船橋市)



第二は、組織と財政がさらに前進いたしました。現在、439名、目標の450名まであと一歩というところまで来ました。

第三は、千葉県の治安維持法犠牲者名簿の編集が動き始めています。すでに、編集長の玉川寛治さんを中心に、特高月報などの調査が行われています

委員会・日本共産青年同盟が
ば県準備委員会検挙概況』と
いう膨大かつ貴重な資料が発
見されました。日本共産党の1
〇〇年になあわせて出版したいと
思っています。」

小松氏は、「4月25日投開票された3つの衆参補欠・再選挙で野党統一候補が勝利しました。市民と野党が力を合わせれば、必ず政治を変えることができる」ことを明確に示しました。7月の都議選、来る衆院選の勝利で、野党連合政権の実現をめざしましょう」と述べ、情勢の特徴と運動の課題を報告

繩戦の慶良間(けらま)列島での
集団自決は悲惨でした。1945年3月下旬、米軍が上陸する
中で座間味島(ざまみじま)177人、慶留間島(けるまじま)53人、
渡嘉敷島(とかしきじま)330人が集団自決で亡くなつたとされ
ています◆日本軍が玉砕する
ときは民間人も一緒に死ぬこ
とが名誉であり、敵軍に捕まれ
ば殺されるという恐怖心を植
えつけ、捕虜になるのは恥であ
るとして、現地の軍は住民に手
榴弾を配り、いざというときは
自決するよう仕向けました◆
集団自決は、日本軍が多くの
在留邦人を抱えて戦つたサイパン
、テニアン、フィリピンのパナイ
島、ソ連軍侵攻下の旧満州でも
起きています◆これは、民間人
に捕虜になることを許さず死
を強制した当時の国家体制が

(前ページのつづき)

が、先般、『日本共産党千葉県

（三）にて 小松敦事務局長が

庚
經

冒頭に日下みや子事務局長より東葛支部を結成し、その活動の第一歩として映画「わが青春はつくるとも・伊藤千代子の生涯」を成功させたい、そのためにも支部として学習や交流会をしていくことを決めました。今回は支部結成後初の学習会です、とあります。

竹内支部長は、まず伊藤千代子をはじめ治安維持法下の20年間による犠牲者の数とともにその時代背景をつかんでいたきたいとして、関東大震災をきっかけとした弾圧、その後



東葛支部の学習会



講演する竹内壮一支部長

2月8日に結成された東葛支部主催の学習会が5月20日、アミュゼ柏で行われました。竹内壮一支部長が「治安維持法の時代と伊藤千代子」と題して約1時間講演、20名が参加しました。

冒頭に日下みや子事務局長

より東葛支部を結成し、その活

動の第一歩として映画「わが青

春はつくるとも・伊藤千代子の

生涯」を成功させたい、そのた

めにも支部として学習や交流

会をしていくことを決めました。

今回は支部結成後初の学習会です、とあります。

竹内壮一支部長が講演 「治安維持法の時代と 伊藤千代子」

治安維持法国賠同盟

東葛支部事務局次長



増田基幸

東葛支部結成後、
初の学習会

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟は、5月12日、治安維持法による弾圧犠牲者への國家賠償法の制定を求めて国会議員への請願行動を行いました。請願行動は、コロナ禍のため昨年にひきつづき関東近県（東京、千葉、埼玉、神奈川、茨城）で行う予定でしたが、今年は北海道、宮崎、滋賀、長野からも代表者が参加し、全国から64人が集まりました。千葉県からは、千葉市、松戸市、柏市、浦安市



国会請願行動

国賠同盟が

治安維持法犠牲者への
謝罪と賠償を求めて

國賠同盟が

から9人が参加しました。
衆院第二議員会館で開かれ
た集会で、中央本部の増一本
彦会長は、「私たちは、治安維



「国会請願行動」の集会

持法犠牲者に対する国の謝罪と賠償を求めて、全国各地で頑張つきました。来るべき総選挙では、私たちの要求実現のためにも市民と野党の共闘で絶対勝たねなりません。そのためにも来年開かれる同盟の全国大会までに2万人の組織にし、共闘の一角を担える組織にしましょう。今日は要請行動に全力を尽くしましょう」と呼びかけました。

日常生活を描いた絵が「共産主義を啓発した」として逮捕・勾留された「生活図画事件」の弾圧被害者、北海道の菱谷良一さん（99）がビデオメッセージを寄せました。菱谷さんは「私も自由で平和な社会をつく



中央本部の増一本彦会長

とんど皆さんが知っている一枚のみで、他のものは特に没収されていくことを写真を示しながら講演しました。

そのなかで私たちが生活している東葛地域でも福田村事件や野田醤油争議といった現在の野田市において、歴史に刻まれる事件、そして戦前最長となるストライキによる労働者のたたかいがあつたことを紹介。そして戦争を本格化していくその時代に、その生涯をたたかに捧げた伊藤千代子についても私たちが目にする彼女の写真はほ

とんど皆さんが知っている一枚のみで、他のものは特に没収されていくことを写真を示しながら講演しました。

映画化される「時代の証言者伊藤千代子」の著者・藤田廣登さんも発言。藤田さんは、これまで山宣や多喜一といった男性の活動家の物語はあつたが、「女性」に光をあてたことの重要性を強調。この時代に自己を確立したすぐれた女性の行き方を学ぶことに挑戦し、皆さん一人ひとりがスポーツセンターとなつて取り組み、歴史を学んでいきたいと述べました。

参加者6名の方から発言があり、2名の方が同盟に入会されました。最後に日下事務局長が閉会のあいさつをし、映画の成功とともに、伊藤千代子の生きてきた現地訪問を支部として取り組み、歴史を学んでいきたいと述べました。

要請行動が終了した午後2時半から全体会議が開かれ、各班の報告がされました。報告する議員宛に「お願い」の文書を出したことや、国会議員の名簿一覧が載った「治安維持法と現代」の春季号を各議員に贈呈したことが、要請行動をスムーズに進めるのに大変役立ったとの感想が多く出されました。

要請行動が終了した午後2時半から全体会議が開かれ、各班の報告がされました。報告する議員宛に「お願い」の文書を出したことや、国会議員の名簿一覧が載った「治安維持法と現代」の春季号を各議員に贈呈したことが、要請行動をスムーズに進めるのに大変役立ったとの感想が多く出されました。

るためにがんばります。生きている限り、歴史の証言者として伝えていきたい」と述べました。田中幹夫事務局長は、請願署名が約9万8000筆集まつて、参加者は19の班に分かれ議員会館の議員事務室をの賛同と紹介議員の要請をする行動を開始しました。

集会では、日本共産党の清水忠史衆院議員、立憲民主党の清水山花郁夫、近藤昭一両衆院議員があつきました。

家族が市川市国府台に移った時の思い出話を兄が私に話してくれました。県道まで出て東京の方を見ると空襲で真赤に染また空、江戸川を越えて千葉県に逃れてくる人の群れはすごかつたと聞きました。

父は市川市国府台も危ないと想い、さらに千葉県の奥、成田市と佐原市の真ん中に位置する香取郡大栄町伊能4区に引越しす。二十年八月十一日、終戦日の四日前に引越ししが終わり父もさぞかし悔しい思いをしたであろう、家族には愚痴ひとつ言わなかつたと聞きました。戦争に翻弄され家族の安全を一番に考えた決断だった。



千葉県本部理事
細沼敬一
国賠同盟

私
細沼の
歴史探訪

二年間仕事もなく、無職生活をしたと笑っていたそうです。そのくらい財力があったそうです。その後小物の行商を一年ぐらいした。大栄町伊能の事ですが青少年の相撲が夏になると盛んで区ごとに開かれる、そんな行事を見に行く中で、それまでは行きの人がウチワを持ってさばいていた。父は何ヵ月かたつある日、日本相撲協会が使う本物

そつくりの軍配を作り青年団に
プレゼントし、村の責任者から
も感謝された。そんなこともあ
りました。

東京も数年がたち落着きが出
てきた中で、東京で刺繡をやら
ないかと誘われ、昭和二十五年
单身赴任で刺繡の本業につく。

昭和二十七年、現在の上皇が
立太子の礼で身に着ける白装
飾に、刺繡を施す仕事をしたと
聞きました。



父・細沼長次郎の刺繡

決断した。父にしてみれば、自分でも名誉ある仕事のはず残念だったと思います。



父・細沼長次郎の刺繡

話していたそうです。死ぬのが早かつた。

刺繡業の関係者の方
は母に、あなたのお父
さんは刺繡に関して人
間国宝になるくらいの
腕をもつた人ですよと

千葉市支部では、4月16日の定例役員会で、中央が提起した「躍進期間」について討議。総会目標の「会員130名」を140名へと引き上げ、奮闘することを意思統一しました。

数日後、さつそく事務局次長の佐々木ゆうきさんから2名拡大の報告が入りました。それをメールで役員各位に連絡すると、われもわれもと次々に拡大の報告がとび込んできました。女性部の渡辺喜代子さんは、元の職場の人たちに声をかけ2人。会長の寺尾さとしさんは、活動地域の花見川区で、事務局長の私も声をかけ、あれよと



治安維持法國賠同盟
千葉市支部事務局長

会員拡大で奮闘
中央提起の
「躍進期間」に応えて—

「躍進期間」に応えて――

いう間に6人の拡大になりました。さらに、あの「飯島喜美の不屈の青春」の著者・玉川寛治さんも地元の美浜区で増えしゃべりました。

名の目標は、あれよという間にクリア。さらに渡辺さん、吉永さんのペアは、入会のお誘いの手紙と申込書を元の職場の人たち、約50人に送付。5月21日の役員会には、早くも3人の入会があつたとの報告がありました。今後の本格的な声かけが楽しみです。

「声をかければ入会してくれる」これが今、千葉市支部の役員の共通の確信になっています。

アジア太平洋戦争のさなかに出された金属類回収令。兵器原料の金属不足で、ベーゴマ、鍋釜、二宮金次郎像、寺の鐘や大仏像、鉄道の線路なども強制的に供出させられました。外地の朝鮮、台湾、樺太、南洋群島でも施行されました。

こうしたなか、鎌ヶ谷市にある鎌ヶ谷大仏（市の文化財指定）が金属供出を拒否して守られたという話を聞き、「それはすごい」と思い見に行きました。新京成電鉄・鎌ヶ谷大仏駅北口徒歩1分の墓地の中に大仏は露座していました。

铸造青銅製の釈迦如来像で、高さ1.80m、台座含めて2.30m、安永5年（1776）11月、鎌ヶ谷宿に住む大国屋福田文左衛門が、祖先の靈の冥福を祈るために建立したという。



谷市の文化財に指定される。房総の魅力50
〇選に選ばれている。日本で大仏と称される
仏像のうち、石像以外では最少との説がある。

戦前の金属類回収令を

金屬類回收回

金属類回収令
1941年(昭和16)に公布、2年後に勅令第60号で全面改正された。ハチ公も溶かされ、現在のは2代目。上野大仏は、頭部、胴体は供出で失い、現在は顔面の部のみがレリーフとして保存されてい
る。



日本共産党の歴史

流山市、一九四七年
十二月入党

吉野幸子

日本共産党の五十年党员が綴る「日本共産党とともに私の五十年史」が、2000年11月日本共産党千葉県委員会（編集委員会代表 谷ヶ崎 溫）から刊行されました。

今回、このなかから吉野幸子さんが執筆されたものをご紹
介します。

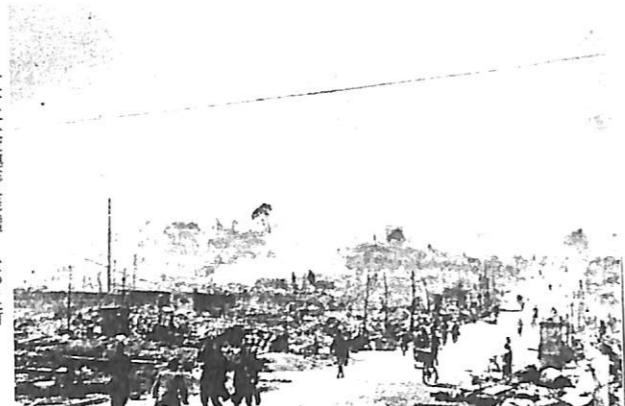
私の人生でいちばん幸せなこ

「かけてかぶせて砂で消す」と防空演習どおりに必死にやつたが、雨のように降つてくる焼夷弾に打ちのめされ、やつと命だけは助かつた。その夜、焼け残つた小学校の教室の小さな椅子に腰掛けた私は呆然としていた。小さなローソクの灯に照らされているのは全身やけどの人びと、何の治療も受けることなくう

めき声が消えた。と沙一きと死んでいた。そこへまた爆音。偵察機だつたろう。いつそこの学校の上に大きな爆弾が落とされ、木つ端微塵になつてしまつた。と私は思つた。

翌朝生き残った人ひとは上野駅に向かつた。途中どころどころに鉄骨がむき出しのビルの残骸があるだけでずっと見渡せた死んでツンと棒のようになつた子どもをねんねにおぶつた人

そして八月十五日が来た。日本は負けたんだ。しかし、もう私の心の中はさわがなかつた。むしろ、今日からは空襲の心配をしないでゆっくり寝られるのだという、ほつとしたような気持ちだつた。



火の中をにげまどううちに背中の子どもは煙で窒息死していのだろう。みんなものも言わずに下をむいて歩いていた。明治座のところに来たら、明治座に逃げ込んでむし焼きになつた死体を、軍隊がスコップでトラックの荷台にほうりあげていた。それはもう人間ではなくごみと同じ扱いだつた。

私はいったん長野県、そして山形県へと知り合いの家に行つたが落ち着けなかつた。「一億玉碎」で死ぬならやつぱり生まれた東京で死にたいと思い、母などがとめるのも聞かずに空襲のつづく東京に戻り、神田小川町の焼け残つた家に妹と友達と三人で住んだ。毎晩のように空襲で防空壕の中へとび込んだ。

そして八月十五日が來た。日本は負けたんだ。しかし、もう私の心の中はさわがなかつた。

私たちは
どう生きるのか
「信教の自由を守る日」

信教の自由を守る日本

3

辯哲子

日本基督教固隸遺物

啓蔵は43年12月に、2年の実刑を課されて青森刑務所に収監され、拷問と信仰清算の強要を受けました。弁護人は啓蔵の保釈出所に尽力し、12月28日ようやく保釈をとりつけました。

保釀中、啓蔵は上告趣意書作成に苦闘しました。既にキリスト教信仰をもつていないうことを証し、無罪を勝ち取ろうとすることです。「これは父(啓蔵)にとうても苦しい作業であった。あるていどの妥協の中に、信仰の節操だけは残したい。妻子の生活がかかつてているだけに、父の心中は

月15日付で啓蔵の日本基督教団正教師辞任の手続きをとることを通達します。家族は物心ともに悲嘆困窮に突き落とされました。第6部、第9部の教職と家族は同じように多くの犠牲をこうむつたのです。

このときの対応が誤りであつたことを教団が認めたのは戦後40年を経た1986年です。11月13日第24回教団総会の中で「旧6部・9部教師および家族教会に謝罪し、悔改めを表明する集会」がもたれました。

明を出し、取り組んできました。『王の王、主の主であるキリストへの告白に生きる教会は、第二次世界大戦中の罪過を二度と犯さないために、見張り役として務めました。

ところが敗戦から75年たつ今日、時代に対する危機意識が欠落していることを痛感します。例えば2019年の大嘗祭（だいじょうさい）に対しても「政教分離原則に違反する」とのクリスト者による抗議は少なかつたのです。

自己保身、無責任、無関心が広がっています。なぜ勾留され

日本基督教団隠退牧師・辻哲子さんのご了解をいただき、キリスト教月刊誌「信徒の友」に掲載された辻さん執筆の『私たちはどう生きるのか』「信教の自由を守る日」に寄せて』を転載させていただきました。ありがとうございました。

苦渋にみちていたに違いない（辻宣道著『嵐の中の牧師たち』所収）。啓蔵は天皇制の下に過度の屈辱を強いられ妥協へと歩まされました。それでも翌年4月30日上

あらためて思うのは、戦時下のキリスト教会およびキリスト者の信仰の体質です。国家体制に傾く人、神の国を心靈的な事

あらためて思うのは、戦時下のキリスト教会およびキリスト者の信仰の体質です。国家体制に傾く人、神の国を心靈的な事柄とする人、嵐が静まるまで沈黙する人と、妥協と逃亡にあふれていました。果敢に闘うキリスト者はいましたが、わずかでした。歴史は動いています。戦後の教会は「信教の自由」と「政教分離」の自由をゆるしてはなりません。私たちキリスト者は信仰と生活との規範である聖書を貫く教説史(きょうじょうし)の神の支配の下に、勝利の主を仰ぎつつ、その自由と平和を示していくますよう、祈ります。

伊藤千代子「獄中最後の手紙」発掘秘話

—なぜ苦小牧か、獄中死の原点を見つめなおす

島山忠弘
(5)

国策パルプとその前身、

大日本再製紙工場

一九二九年、伊藤千代子が囚われ市谷刑務所の男子房には、「3・15」事件で検挙された共産党員が多数いました。その中には、千代子の入党推薦者で党中央事務局長(今日の中央委員会に当たる)水野成夫や夫の浅野もいました。思想検事らは、彼らをターゲットに攻撃と懐柔によって、まず、指導部の水野成夫に、絶対主義的天皇制を認める「上申書」を書かせ、それを獄内の同志たちに読ませて、転向に誘い込むやり

方をとり、治安維持法による弾圧の実践として進められ、人々と転向者が増やされ、それに浅野も同調したのです。

党の事務局員であった南喜一もその同調者です。南は釈放後、印刷物からインクを抜く再生紙の技術を確立し、水野を誘つて大日本再製紙工場を苦小牧市勇払に起ち上げました。戦争が開始され、原料のパルプが途絶え、用紙不足を解消して需要増に応えるために、財界と政府、陸軍の中枢部と結託して始められ、一九四三年五月一日、大日本再生紙勇払工



△伊藤千代子顕彰碑・土屋文明謡「伊藤千代子がこと」歌碑
(1997年7月21日建立。諏訪市・龍雲寺墓園)

場が操業を開始しました。

工場設立時の大問題は、战火が激しくなったこの時期に製紙機械をどこに求めるかでした。が、この機械を輸送し、勇払に金額で買ったと称されていますが、この機械を輸送する機械をどこに求めるかでした。が、この機械を輸送し、勇払に設置したのです。ところが、戦後になって連合軍最高司令部の「日本政府への覚書」で返還命令が出されました。「中国に返還する機械の解体撤去作業は一

九四八年七月七日の七夕の日に開始され、一〇月一〇日の四十節の日に完了した」(平井義著『第日本再生製紙の誕生と背景』)。

水野、南らの転向者が権力に迎合し、軍部と結託した結果は惨憺たるものでしたが、旭川工場などの援助や労働者に多大な負担をかけながら、やがて朝鮮戦争時の軍需景気に乗つて再建されていくのです。

その後、大日本再生製紙は国策パルプと合併し、水野が社長になり、彼はここを足がかりに、

その後、手紙の公開を求める運動は続けられ、二〇〇四年になつて、治安維持法国賠同盟が市民を代表した形で市立中央図書館を訪れ、伊藤千代子の最後の手紙の公開を申し入れました。

(次号につづく)